

2月行事予定

【◎：スクールカウンセラー常松先生来校日 ☆：校庭開放】

日	曜	学校行事	日	曜	学校行事
1	水	安全指導 委員会 ☆	15	水	ペア学年(2・5年) クラブ お話会 (2年生) ☆
2	木	ペア学年 (2・5年生) 避難訓練 展覧会準備 (6年生)	16	木	ペア学年(3・4年) 社会科見学 (6年生)
3	金	ペア学年 (2・5年生) 天体観測 (5年生) ◎	17	金	馬橋タイム 理科出前授業 (4年生) ◎
4	土		18	土	
5	日		19	日	
6	月	全校朝会 5時間授業 (3~6年生)	20	月	全校朝会
7	火	馬橋タイム 4時間授業	21	火	馬橋タイム 社会科見学 (3年生)
8	水	B時程 4時間授業 ☆	22	水	ペア学年 (1・6年生) 4時間授業・13:30 下校 (全学年) ☆
9	木	児童集会 前日準備 5時間授業 (3~6年生)	23	木	天皇誕生日
10	金	馬橋タイム 展覧会1日目 (児童鑑賞日) ◎	24	金	ペア学年 (1・6年生) 社会科見学 (4年生) ◎ 新1年生保護者会 (1年生4時間授業)
11	土	建国記念の日 展覧会2日目 (保護者鑑賞日・出演①) ※給食あり・4時間授業・13:10 下校	25	土	土曜授業日
12	日		26	日	
13	月	振替休業日	27	月	音楽朝会 お話会 (1年生、仲よし)
14	火	馬橋タイム	28	火	ペア学年 (1・6年生)

今月の目標

生活…当番や係の仕事は責任をもってしよう
給食…寒さに負けない食事をしよう
保健…心の健康について考えよう

《仲よしミニつうしん》

仲よし学級では、1年生から毛筆にチャレンジしました。手本をよく見て集中して書きました。どの作品も力強く、とても素敵です。



馬橋の教育

70周年展覧会

本年度最後の全校行事である展覧会が2月10日(金)と11日(土)に開催されます。日々の図工の授業で取り組んだ作品、高学年は家庭科の作品も併せて一堂にご覧いただけます。本年度は本校70周年の年です。本展覧会では、次の80周年に向けて馬橋小学校が地域と手を取り合い発展していくように願いを込めたペア学年による共同制作も展示しています。また、高学年児童が行事を盛り上げるための取り組みを主体的に考えて準備に力を注ぎました。児童の思いが込められた個性豊かな作品たちが体育館を華やかに彩ります。ぜひ足を運んでいただき、ご高覧ください。コロナ感染症の流行も依然として続いておりますので、各学年の時間枠を設けて密を避けるように対策を講じております。来校前に検温をしていただくなど保護者の方にも感染予防のご協力をよろしくお願い致します。

図工専科 直本 鉄平



～ 子どもを共感的に見る ～

教務主任 齊藤 慎一

先日は、ご多忙のところ学校公開に多数の保護者の方にご参観いただき、ありがとうございました。道徳地区公開講座でもあり、いくつかの価値観について、子供たちが考えたり話し合ったりする場面をご覧いただけたのではないかと思います。今回はそのように子供が自分の考えを伝える場面において、我々大人はどのように受け止めればよいのか、私の考えを書かせていただきます。

数年前の話です。ある子が登校すると同時に「先生、見て見て！」と言って私に石を見せてくれました。それは丸い形ですべすべした肌触りの石でした。「綺麗な石だね。どこで見つけてきたの?」「家の近くの道に落ちていたんだ。」と言い、嬉しそうに自分の席に戻っていきました。その子は普段通り慣れている道の片隅に珍しい形の綺麗な石を見つけたのでしょう。そのとき、驚きと同時に幸せな気持ちになったのだと思います。そして、その幸せな気持ちを担任と一緒に分かち合いたくて、大事に掌の中に入れて持ってきたのだと推測できます。

さて、私たち大人は普段、子供をどのように見ているのでしょうか。「子供とはこういうものだ。」という大人側の基準で子供を見ると「あれも足りないな。」「こんなこともできないのかな。」など、足りないものばかりが目が向きます。しかし、大人側の基準ではなく、その子自身になりきって物事を見てみると、実はそこには、その子の豊かな世界が広がっていることに気がきます。その子になりきって共感的に見ると「こんなこともできるようになったんだ。」「こういう感性をもっているんだな。」と足りないものではなく、その子が今持っている素敵な側面に目が向けられます。

先程の石を持ってきた子も大人の基準で見ると、もしかしたら「石なんて持ってきてどうするの。」「どこにもある石だよ。」と言ってしまいかもしれません。そうになると、その子はきっともう大人に何も見せることはしないでしょう。他方、その子の世界観で見ると、「この石は、この子にとっては宝物のように映っているんだな。」「感動をみんなに届けたいという優しい心の持ち主なんだな。」と、その子の素敵な一面が見えてきます。

もちろん、これらの見方のどちらが良くて、どちらが悪いという二項対立の話で簡単に片付けられる話ではありません。大人として両方の視点を持っていることが大事であり、要するにそのバランスの問題だと思うのです。そして、バランスの話であるならば、いつも大人側の価値観の押し付けであってはいけないとも感じます。その子が何を感じているのか我々は注意深く観察し、それらを共感的に受け止めることが必要ですし、むしろこちら側に主軸を置きたいものです。

杉並区教育ビジョン2022では、「みんなのしあわせを創る杉並の教育」をテーマとしています。勉強ができる、スポーツが得意、それも一つの幸せの形なのかもしれませんが、それ以外にも「私は友達と一緒に過ごす時間そのものが幸せなんだ」「僕は一人で黙々と考えを思い巡らしている時間が幸せって感じるよ。」等々、幸せの形は人それぞれです。大人側の基準で幸せの形を決めてしまうのではなく、その子の世界観を大切にし、ともに追究したいものです。

馬橋小学校は様々な教育活動を通して、一人一人の願いや思いが実現できるよう、ともに歩んでいきたいと考えています。